

夏の風物詩

厳しい暑さが続いております。「暑いですねえ」がすっかり挨拶の言葉になってしまった今日この頃。本日は涼を求めてそうめん流しの開催です。職員たちが仕掛け作りに右往左往する中、興味津々といった様子で利用者さんも集まって来られました。仕掛けに使った本がいつの間にか抜き取られていてレールが傾いてしまい、周りを見渡すとそれを持ち歩いている人や読書を始めた人が……。ああでもない、こうでもないと一段と騒がしくなりましたが、みなさんととても楽しそうです。



一方、あちらではスイカ割り選手に抜擢された利用者さんが静かにスイカと対峙しておら

れます。スリコ

ギを振りかざし

エイヤッ!ポコ

ン!の音。手のひ

らで叩かれる利

用者さんもおり、

ペシペシ。遠慮されているのでしょうか。ポコポコペシペシとどうにも割れそうにない音がしばらく続きます。



スイカは割れないまま準備が整い、そうめん流しが始まりました。流れてくるそうめんを真剣に見つめ、少し手前で構えた箸を繰り出し、すくい取り、お椀に落とす。一瞬の静寂の後、歓声が上がり、そうめんの美味しさに舌鼓。しばらくすると裏の畑で収穫したきゅうりやミニトマトがゴロゴロと流れてきてみなさん大爆笑。楽しげな話し声や笑い声に包まれ、ますます食が進むよううで、普段小食の方も驚くほどたくさん食べておられました。みなさんが幸せそうな表情でお腹を撫でてしていると、スイカの登場です。その赤く熟れた様子にまたまた大歓声が上がります。優しい方々にポコポコペシペシ叩かれたからでしょうか。それはそれは甘いスイカでした。ごちそうさまでした。

